



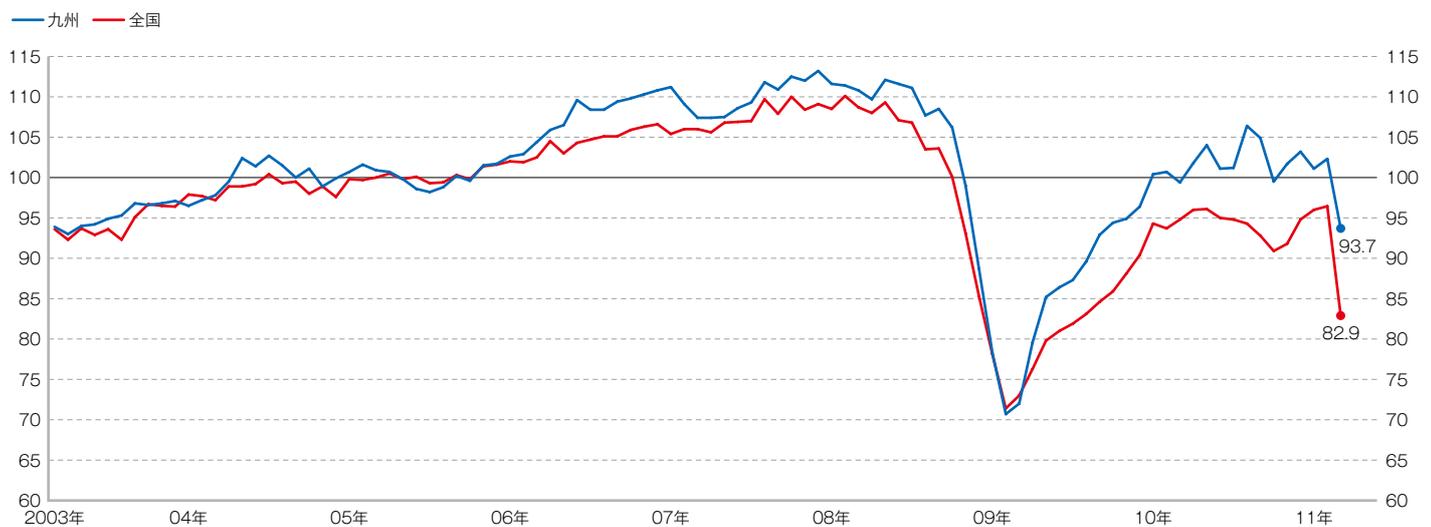
九州の鉱工業生産動向

基調判断 | 震災の影響により、生産は急速に低下している

2011年3月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、東日本大震災の影響で輸送機械の生産が大幅に減少したことから、前月比9.6%低下の93.7と前年実績を大きく下回りました。震災以降、生産活動は落ち込んでおり、今後の動向を注視していく必要があります。

■全国と九州の鉱工業生産指数(2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

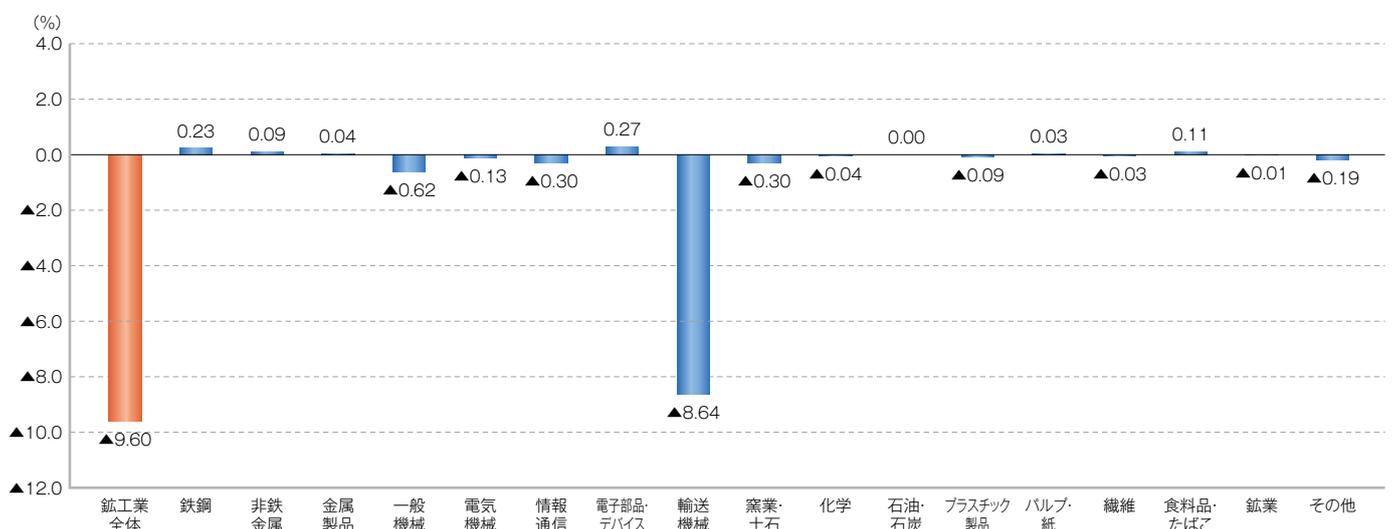


業種別動向 | 輸送機械を中心に17業種中10業種がマイナスに寄与

業種別の寄与度をみると、東日本大震災以降、特に輸送機械については、部品等の調達が困難となり、自動車で大幅な減産を余儀なくされたことから、マイナスの寄与度が突出しています。

■業種別寄与度(鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動では、在庫調整の影響等から鉄鋼が低下した一方、国内外での大型工事用クレーン等が好調な一般機械や輸送機械等が上昇しており、持ち直しの動きは続いています。しかしながら、東日本大震災の影響の動向を注視していく必要があります。

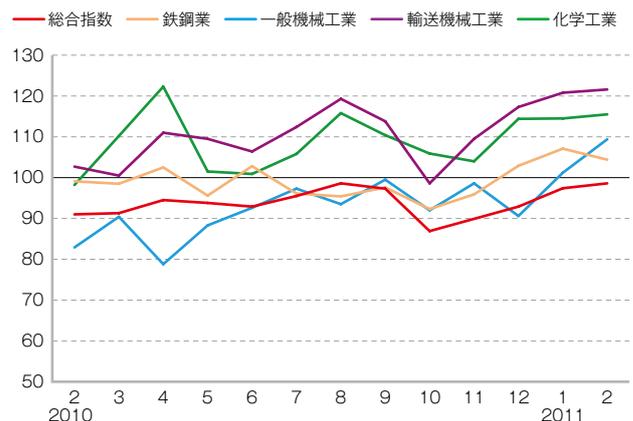
消費面では、大型小売店販売額は、震災発生後の消費自粛ムードから来店客数が減少した一方、非常用食品等の需要の高まりや、新博多駅ビルの開業効果等により前年を上回りました。住宅建設については、引き続き堅調なものの、前年に大型着工が相次いだ分譲マンションの反動の影響が大きく前年実績を下回りました。

1. 生産活動 | 総合指数は4ヵ月連続で上昇

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は98.6となり、前月比1.2%上昇しました。

主要業種では、在庫調整の影響等で鉄鋼が低下した一方、国内や主に中国を中心とする海外向けの大型工事用クレーン等の生産が好調な一般機械が大きく上昇したほか、輸送機械、化学も堅調に推移しました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 福岡県

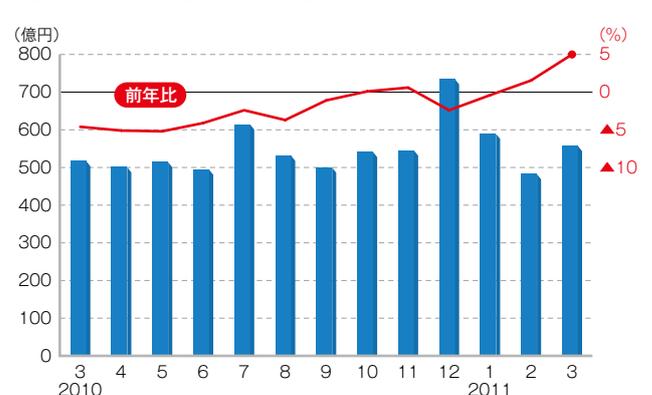


2. 大型小売店 | 2ヵ月連続で前年を上回る

3月の大型小売店販売額は、前年同月比6.0%増の562億円と、2ヵ月連続で前年を上回りました。

震災発生により多くの店舗で来店客数の減少は見られたものの、非常時用としての保存食への需要が高まったことや震災前に開業した新博多駅ビルの開業効果等もあって前年を大きく上回りました。

■ 福岡県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局

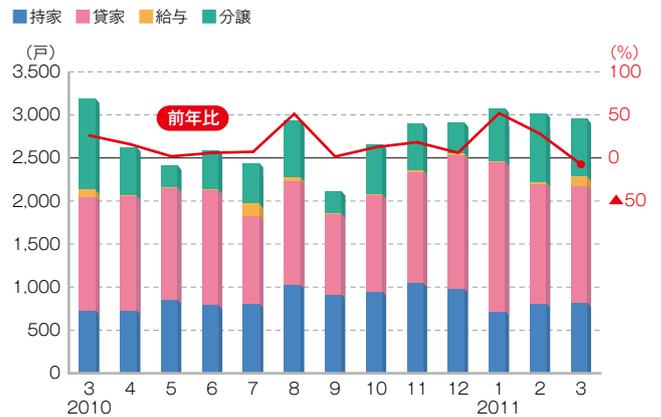


3.住宅建設 | 13カ月ぶりに前年を下回る

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比7.4%減の2,954戸と13カ月ぶりに前年を下回りました。要因としては昨年3月に大型分譲マンションの着工が相次いだことにより戸数が大幅に増加していた影響が大きく、現状の着工戸数自体もここ1~2年でも高い水準を維持する等、持家、貸家、分譲住宅ともに堅調な動きは継続しています。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



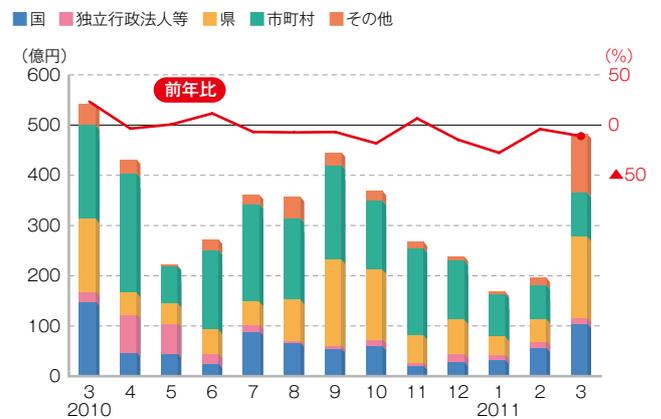
4.公共工事 | 請負金額は4カ月連続で前年を下回る

3月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比1.8%増の987件、金額は同11.0%減の482億円となりました。請負金額は4カ月連続で前年を下回りました。

発注者別にみると、病院建設の大型案件等で「その他」が増加となった一方、「国」や「市町村」では前年を下回りました。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



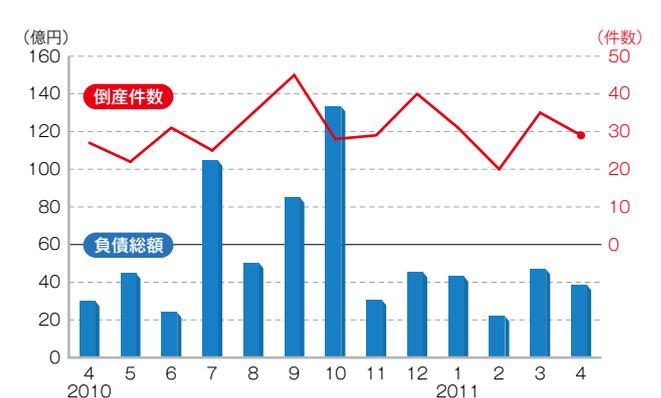
5.企業倒産 | 件数、負債総額ともに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比7.4%増の29件、負債総額は同28.5%増の39億円と件数、負債総額ともに前年を上回りました。

前月比では、製造業で16億円の大型倒産が発生したものの、件数、負債総額共に減少しています。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きにやや鈍化の兆しが見られる

生産活動では、輸送機械が引き続き堅調に推移した一方で、電子部品・デバイスや一般機械等の生産が低下しており、持ち直しの動きにやや鈍化の兆しが見られます。更に今後は、東日本大震災の影響も懸念されることから、動向を注視する必要があります。

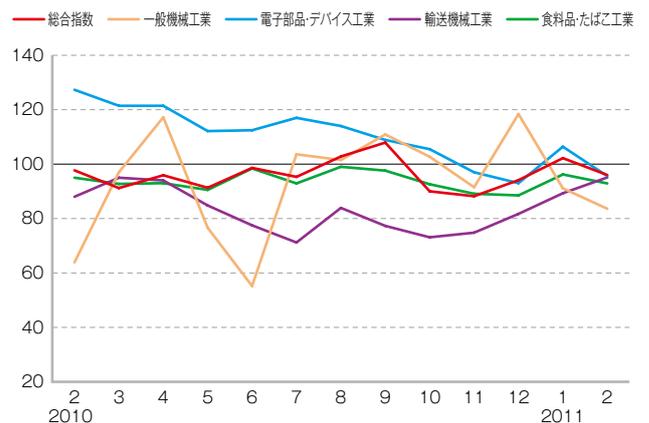
消費面では、震災以降、多くの店舗で消費自粛の動きから来店客数が減少した為、大型小売店販売額は低調に推移しました。住宅建設は、持家、貸家が増加した一方で分譲が減少し前年同月比横ばいで推移しています。

1.生産活動 | 総合指数は3カ月ぶりにマイナス

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は96.0となり、前月比で6.0%低下しました。

主要業種では、輸送機械が引き続き堅調に推移した一方、集積回路の在庫調整等の影響で電子部品・デバイスが低下したほか、一般機械等も低調に推移しました。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 熊本県



2.大型小売店 | 2カ月ぶりに前年を下回る

3月の大型小売店販売額は、前年同月比4.5%減の132億円で、2カ月ぶりに前年を下回りました。

東日本大震災発生以降、消費自粛ムードの高まり等から多くの店舗で来店客数が減少しており、低調に推移しました。

■熊本県の大型小売店販売額 出所 九州経済産業局





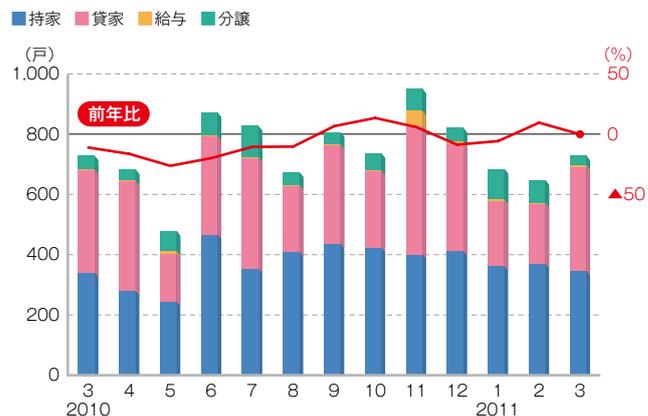
3.住宅建設 | 持家取得の動きは堅調に推移

3月の新設住宅着工戸数は、持家や貸家で前年同月と比べ僅かながら上昇したものの、分譲については戸建が減少したことから、全体では前年同月と横ばいの728戸となりました。

住宅取得関連の優遇制度の効果等から、持家取得の動きは堅調に推移しています。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



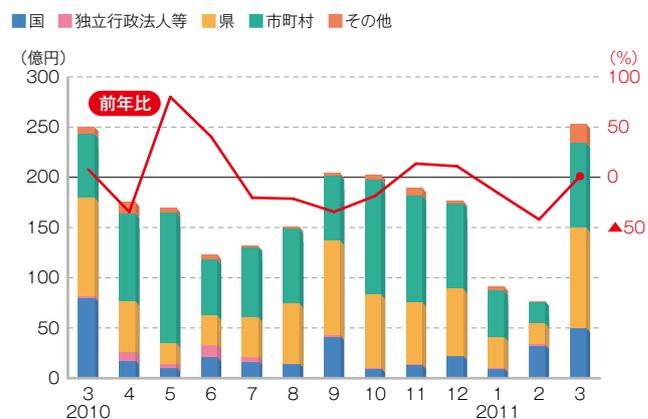
4.公共工事 | 請負金額は3カ月ぶりに前年を上回る

3月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比10.6%減の474件、金額が同1.1%増の253億円となり、請負金額は3カ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、「国」や「独立行政法人」で前年を下回ったものの、新庁舎建設工事等で「市町村」が増加しました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



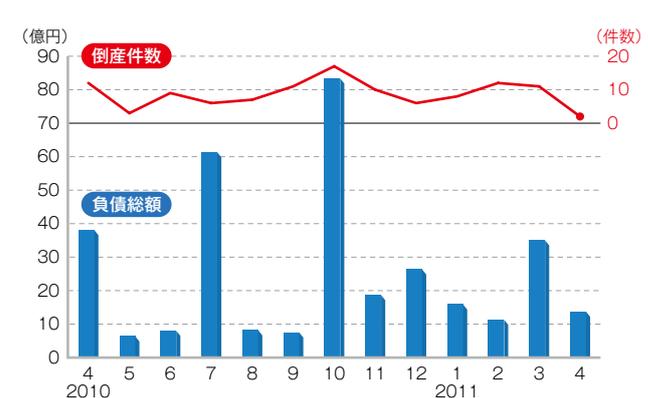
5.企業倒産 | 件数、負債総額ともに前年を下回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比83.3%減の2件、負債総額は同64.0%減の14億円となり、件数、負債総額ともに前年を下回りました。

前月比では、サービス業で約12億円の大型倒産が発生したものの、倒産件数、負債総額共に減少しています。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動では、電子部品・デバイスが低下した一方で、発電設備向けボイラーの生産回復等により一般機械が上昇したほか、食料品も堅調に推移する等、持ち直しの動きが続いています。今後東日本大震災の影響が懸念され、動向には引き続き注視する必要があります。

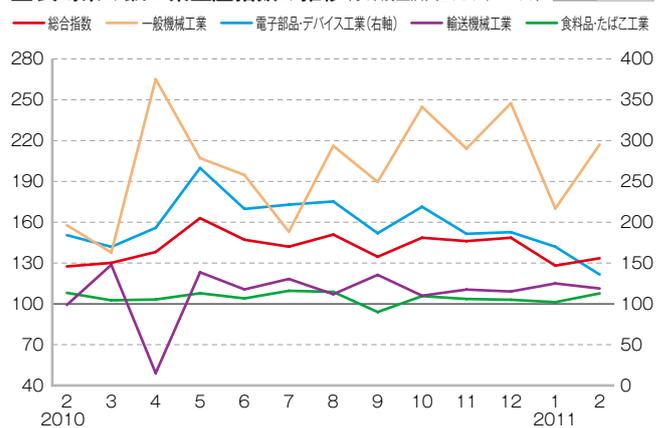
消費面では、大型小売店販売額は、震災発生により、非常時用を中心に飲食料品は堅調に推移した一方、全体的に消費自粛ムードが強く低調に推移しました。住宅建設については、持家が好調で前年実績を上回りました。

1. 生産活動 | 総合指数は2カ月ぶりに上昇

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は133.5となり、前月比4.3%上昇しました。

主要業種を見ると、半導体集積回路の生産調整等から電子部品・デバイスが低下した一方、発電設備向けボイラー等の生産が持ち直したことで一般機械は大きく上昇しました。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 長崎県



2. 大型小売店 | 3カ月ぶりに前年を下回る

3月の大型小売店販売額は、前年同月比3.1%減の96億円と、3カ月ぶりに前年を下回りました。

東日本大震災以降、飲料水や缶詰等の保存食品等の販売は好調だったものの全体的に消費自粛ムードが強く低調に推移しました。

■長崎県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



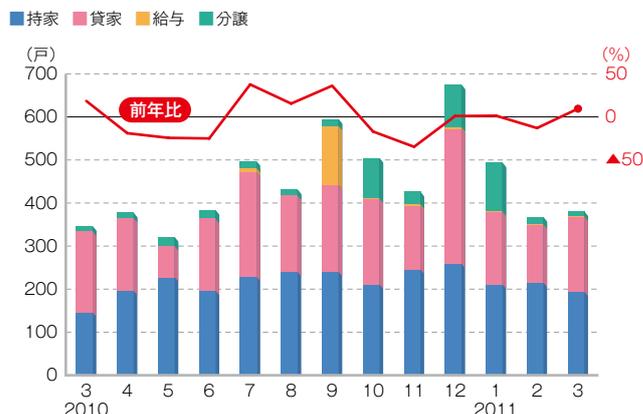


3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を上回る

3月の新設住宅着工戸数は、貸家が前年同月と比べ減少した一方で、住宅取得関連の優遇制度の効果等から持家については増加する等、全体では前年同月比9.8%増の380戸と2カ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



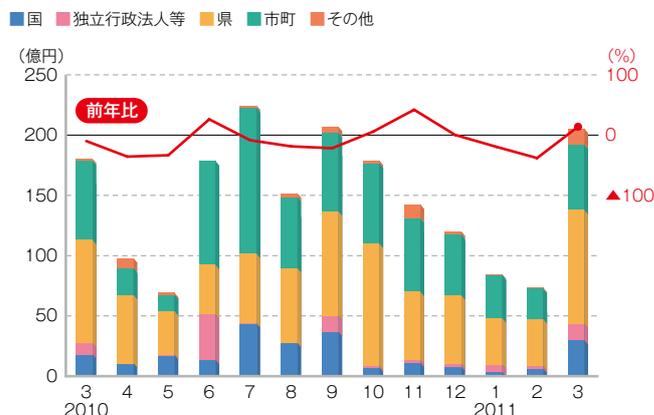
4.公共工事 | 件数、請負金額ともに前年を上回る

3月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比4.2%増の444件、金額が同13.9%増の205億円と、件数、請負金額ともに前年を上回りました。

発注者別では、トンネル新設工事や福祉施設の改築工事等で「独立行政法人」や「その他」が増加しました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比変わらずの3件、負債総額はサービス業で9億円の倒産が発生したことから、同784.5%増の10億円と前年を大きく上回りました。

前月比では、倒産件数は減少しているものの、負債総額は増加しています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

